

やよい句会 令和三年 代表句

十月

滝つ瀬の櫓捌き見事秋の空

信

いつの間に柳黄ばみて散りはじむ

晴代

今と言う余生暇なく末枯れず

雅俊

十一月

恙なく湯舟に聞くや虫の声

信

北風や木の葉吹き上げ吹き寄せて

晴代

薄日差す卓上の影梨おぼろ

鉄夫

布団干し紫と寝る夢を見る

雅俊